

テーマ

伝えようふるさとの魅力

事業実施地区（中学校区名）	吉賀町立柿木中学校
事業実施公民館等名 （中学校区内にある全ての公民館等）	柿木公民館

テーマの背景

夏休みを利用し、ふるさとの自然に大いに触れることで、ふるさとへの愛着や誇りを感じる
ことのできる人材に育ってほしい。

小学4～6年生については同じ夏休みを利用し、宿泊を伴う事業を毎年継続し実施している。
本事業ではこれに参加できない1～3年生を対象とし、また、親子共同作業の内容を入れ込むこ
とで保護者の参加も期待する。

実際の取組

②学校の学びをさらに深める場の設定

事業名：夏休みお楽しみ会と食改おやこ料理教室

<取組の概要>

対 象：小学生 地域住民

内 容：小学生には川遊びを経験させたいと考えている地域の方が多く、当該事業を計画した
が、川での活動は危険が伴うため多くのスタッフが必要である。平日開催の理由も重なり
人集めが困難を極めた。そこで、学校でハートセーバーの資格を取得した中学生にボ
ランティアスタッフとして関わってもらったこととした。

川で活動をさせたい地域の想いと学校での学びを実践に活かす Win&Win の関係を構
築することができた。また、多世代の交流も併せて意図する。

<成果と課題>

当日は台風の影響により川での活動を縮小しなければならず、中学生の出番はお預けとなっ
た。小学生・中学生共に残念がる様子が見られ、継続して計画しなければならない必要性を感じ
た。

④ふるさとの魅力や価値に気づき、理解を深める学びの場を設定

事業名：夏休みお楽しみ会と食改おやこ料理教室

<取組の概要>

対 象：小学生 地域住民

内 容：吉賀町は清流日本一に輝いた高津川が流れている。そこでの川遊びや川の生き物に関する学習、川原の石を使用した石アートを通してふるさとの魅力を発見する。

また、昼食は自分たちで調理を行う。地域の食材を材料とした献立でふるさとの農産物に興味を持つ。



<成果と課題>

川に関する学習の時間では、2人の講師により生き物を中心としたお話を熱心にしていただいた。私たち大人にとっても初めて聞く話がたくさんあり、地域の魅力を再発見することができた。

当日は台風の影響により川での活動を縮小しなければならず、急きょ学習に重きをおいた内容に変更した。計画段階から雨天時の対応を含めた活動内容を企画しなければならない。

まとめ

テーマに迫るためのポイント

上記事業では、1日日程の中に、「自由学習」、「料理教室」、「食育に関する学習」、「川遊び」、「石アート」を実施した。「盛りだくさんの内容」と興味を持ったとの感想があったが、他方で様々な内容を詰め込みすぎて主たるテーマがぼやけてしまった印象も感じている。

今後の展望

上記の反省から、他の公民館事業においても、ターゲットやわかりやすいテーマを絞った企画運営が必要であると考えます。事業実施の結果、参加者にどんな気づきや学びがあるのかを意図し、そのことに迫る内容とならなければならない。

また、保護者の参加を期待し募集を行ったが、結果的に参加者は0人であった。日頃から保護者世代との関わりを大切にし、動きやニーズを注視し事業への参加を促したい。ひいては地域の次世代の担い手育成にもつなげたい。